

粹な役者の
いい加減人生録。

2023年4月15日に

亡くなった四代目市川左團次。

生前に綴られた自叙伝とともに、

尾上菊五郎、片岡仁左衛門ほか

一門が思い出を語る。

全上演歴・活動年表や、

秘蔵のカラー楽屋写真も収録。

四代目 Yodaiime
市川左團次 Ichikawa Sadanji
その軌跡

市川左團次

カバー写真 篠山紀信
「助六由縁江戸橋」舞台の意匠

2024年4月24日発売

定価2,970円(税込)
四六判・209ページ

小学館



楽屋風景
毛抜 傘寺 弾正の 拵え

撮影：藤田修平

その生い立ちや歌舞伎への思い、
そしてプライベートまで
十年前に自らが語った、
市川左團次の人生訓。

生前に綴られた
自叙伝とともに、
尾上菊五郎、
片岡仁左衛門ほか
一門が思い出を語る。

私たち歌舞伎役者の評価は、
死んでから決まることがある
とも言われています。(中略)
といつても、今さら、
無理なことができるはずもない。
結局は、自分のできることを
ひとつひとつ積み上げていく
しかないんでしょう。
今までだって、そうやって
生きてきたんですから。

——本文「いい加減、人生録」より

〈一〉いい加減、人生録

◆歌舞伎へようこそ ◆高島屋の子
◆舞台に立つ ◆役者修業 ◆四代目左團次：

〈二〉在りし日を偲んで

尾上菊五郎／片岡仁左衛門

〈三〉父、祖父、そして師への追慕

市川男女藏／市川男寅
市川左升／市川萬之助／市川左次郎ほか

〈四〉市川左團次が語った役への思い

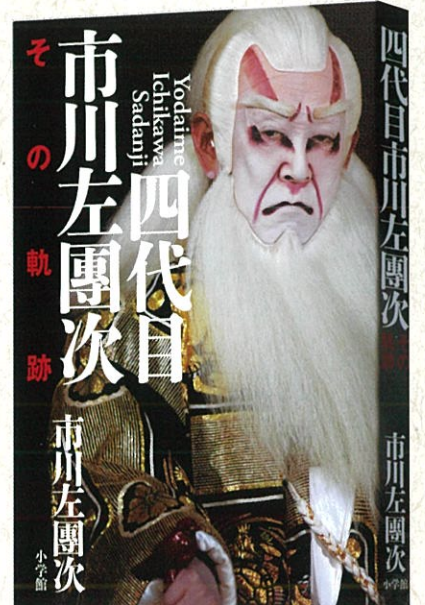
朝田富次

〈五〉年譜 昭和二十二年(一九四七)～令和五(二〇二三)

四代目市川左團次(いちかわ さだんじ)
歌舞伎俳優。本名、荒川欣也(あらかわ きんや)。
屋号は高島屋。昭和十五(一九四〇)年十一月十二日、東
京生まれ。三代目市川左團次の長男。昭和二十二(一九四七)
年五月東京劇場「菅原伝授手習鑑 寺子屋」の首秀才で、
五代目市川男寅を名乗り初舞台を踏む。時代物、世話物、
新歌舞伎それぞれで唯一無二の演技を見た。荒事から存
在感のある敵役、滋味溢れる老け役など幅広い役柄で活躍。
令和五(二〇二三)年四月十五日逝去、享年八十二。平
成二十三(二〇二二)年旭日双光章、平成二十八(二〇一六)
年度日本芸術院賞など受賞多数。

四代目 Yodaime Ichikawa Sadanji
市川左團次 その軌跡

市川左團次 定価2,970円(税込) 4月24日発売
四六判・209ページ



カバー写真
篠山紀信 「助六由縁江戸桜」
髯の意林

愛読者サービスセンター TEL.03-5281-3555
<https://www.shogakukan.co.jp/>

小学館